

2022年度 一般社団法人 大曲青年会議所

基本方針

アカデミー委員会担当

副理事長 鈴木一生

1973年当時の会員から49年間の歴史や想いをつなぎ、今現在大仙郷で大活躍する先輩諸賢や現役会員が多数存在、奮闘するなか、創立50周年という大きな節目を迎えました。未だ続く会員減少や平均在籍年数の短期化という困難な状況へも継続的且つ果敢に立ち向かい、発展と成長の機会を提供し、これまでに培ってきた数々の手法や、持続可能な事業を地域へ落とし込める、時代に相応しい大仙郷のキーパーソンへの進化が必要です。

まずは、今後も必要不可欠な組織として活動と運動を続けるために、地域に住まう同世代の人財を掘り起こす会員拡大を展開し、理念に共感する同志を増やし続けることで、強固な組織を構築します。そして、会員が今後も力強く活動と運動を行なっていくために、学びが得られる場を会員とともに設え、組織の牽引者としての自覚を形成します。さらに、一人ひとりが大きな目標や夢を抱くために、理念や目的などの基礎知識を新入会員とともに学び、知識を積み重ね、未来への向上心を高めます。また、会員がJCを通じてこれからも地域に必要とされるパイオニアであり続けるために、先輩諸賢と連携、ご協力を賜りながら事業を企画実施し、実行力、人間力を作り上げられる場を創出します。そして、未来を創り上げる環境の大切さを学ぶために、世界各国の同志と日々行われている活動や運動、各種大会へ参加を促し、率先して行動できる人財へ変革します。さらに、JCライフを存分に楽しむために、新入会員が主体性をもって運営する、家族へ向けた交流事業を開催し、JCへの理解と絆を深め、地域リーダーとしてのバイタリティと意識を高めます。

創始の志を脈々と受け継ぎ、資質向上した会員は、半世紀という壮大な節目に才能を存分に発揮し、豊かな個性を最大級爆発させ、大仙郷の活性に心血を注ぎ、どこであろうと積極的な参画を行い、先々も愛をもって人を温かくつなげ、希望の灯火を燃やし続けます。